The Women's News, Japan

This paper's aim is to promote peace and equality from the point of view of women.

本紙は女性の視点で平和と平等を推進します

女性ニューズ
The Women's News, Japan

発行所　全国婦人新聞社　〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-7-28 宝幸西新宿ビル　電話 03-3343-1846㈹　FAX 03-3348-1890　E-mail : josei-news@arion.ocn.ne.jp　URL http://www.josei-news.jp　月3回発行（10日、20日、30日）　購読料 1年 7,245円　振替口座 00150-7-172320（郵送料、消費税込み・前納）

自然の色と味を生かす淡口（うすくち）
東 ヒガシマル醤油
淡口醤油発祥の地：兵庫県たつの市

格差社会の行方を問う

フォーラム・「女性と労働21」シンポジウム

行財政改革の中の貧困
労働・社会保障分野で見る

フォーラム「女性と労働」21（東京・品川）のシンポジウム「格差社会の行方を問う～労働と社会保障の課題～」が、2月18日、東京・四谷の主婦会館プラザFで開催。行財政改革が進む中、格差の拡大が社会問題となり、女性の貧困化が深刻化している。シンポジウムでは、林陽子（弁護士）、中野麻美（同）、大沢真理（東大教授）、西村智奈美（衆議・民主）さんらが、それぞれの専門分野から問題提起。見直しが求められている労働、社会保障システムをトータルに見据え、あるべき改革の方向性と課題を探った。

シンポジウムで

大沢さんは、経済のグローバル化のもとで、「安心の仕組みである社会保障が、『社会的排除』を生み出す装置となっている」と指摘。成果主義、労働の非正規化、労働費用の減少などを例に挙げ、温存されてきたはずの「男性稼ぎ主型」も、自殺の増加をみれば排除されてきたのだ、という。「出番を与えられないことが、長期的に固定化することが問題。誰でも、出番ある社会でなければ」という。

中野さんも、「労働の世界でも排除の論理が強化されている」と話す。非正規化と成果主義によって、「勝ち組み」「負け組み」に分けられ格差社会が生まれた。格差社会は、少子化、国家・社会保障を破綻させるとも。いま、非正規雇用は、女性の25歳から35歳の間で"順調"な伸びを示している。「これが、社会にとってどういう問題になるのかという認識がないことが問題」。均等法改正問題、労働法の規制緩和などを例に、拡大する男女間格差に歯止めをかけることが、持続可能な社会を目指すキーワードだという。

林さんは、格差を、差別や暴力撤廃に向けた国際的な取組みの視点で取り上げた。また、国連の人権機構改革問題で、条約機関が多すぎるとの指摘で、一本化の動きがあるので、関心をもって欲しいと話した。

国会審議に対する方針について話した西村さんは、「均等法の審議は心配。議員自体が、モザイク的で政党やハト派、タカ派に分けられない。女性議員の連帯が大切だと思っている」。また、差別や人権について見えにくくなっている現実を指摘。労働分野の均等待遇実現の大切さなどについて話した。

大沢さんは「格差があるほうが、活力があると言わんばかりの小泉首相。これは、戦争で戦える国民を作ろうということ」といい、反戦ムードの高まる米国では、一方で、排除された人達が、戦争に参加し、さまざまな資格を得るという現実があるとも。

中野さんは、均等法改正で、注目されている間接差別禁止について、「告発する側が、被害妄想だといわれない権利」なのだという。3月7日、閣議決定した均等法案では、間接差別は限定列挙。しかも、世帯主基準は記されていない。

会場からは、「同じ会社で夫婦共働き。世帯主の夫に4万8千円の住居手当てが支払われる。共働きなのだから、2万4000円ずつにして欲しいと要望してもできないといわれた。30年間勤務すると、1000万円以上の収入格差になる」世帯主条項を例示列挙にして入れて欲しいとの発言があった。

CEDAW

日本レポートにNGOの意見を
望まれる積極的推進態勢

JNNC第2回省庁交渉

国連女子差別撤廃条約実施の進捗状況について、女子差別撤廃委員会（CEDAW）に提出する第6次日本レポート作成に向けての作業が進む中、日本女性差別撤廃条約NGOネットワーク（JNNC）は、2月28日、第2回目の省庁交渉を行った。（於・参議院会館）

JNNCは、第29会期女子差別撤廃委員会（2003年）の日本レポート審議に際し、NGOの共同行動をするために結成されたネットワーク（2002年12月発足）。現在、日本の第4次、第5次レポートを審議、CEDAWが出した「最終コメント」のフォローアップ活動を展開。これまでに、内閣府にレポートに盛り込むべき項目に関する要望を送付、意見提出、省庁交渉などを行ってきている。

今回は、人身売買、ジェンダー統計、条約の選択議定書、女性に対する暴力、農業・自営業・家族従業女性の問題などについて、あらかじめ送付の質問に対する回答を関係省庁に聞き、然るべき回答が得られないものについては、後日文書によって回答するよう求めた。

日本レポートの中でも、マイノリティ女性の状況について記載するよう、前回のレポート審査で指摘されている。NGO側は、どのような取り組みをしているのか、また、当事者との対話などについて考えているかを聞いた。

内閣府では、「今回の報告書の中で取り上げていかねばと思っている」と答えながらも、「被差別部落の女性に限った調査は考えていないし、対話の予定もない」との回答に、NGOは「もう少し前向きな回答がほしい」。交渉中ネットワークのメンバーからも、何度か、男女共同参画施策調整役である内閣府に対して施策推進のため、他省庁や地方公共団体に対して、積極的に働きかけて欲しいとの要望が寄せられていた。

真剣な表情で"答弁"を聞く

検察審査会に申し立て
「教育をもっと自由に」保護者ら訴え

都教委は強制教育止めて！

検察審査会に申し立てを行う告訴・告発する会の人たち

東京都教委は、2003年10月に出した通達で「日の丸・君が代」への強制を強めたが、以来、批判には耳をかさず、2月10日には、公立学校長宛に、強制指導を徹底するよう求める教育長通達をだすなど、ますます姿勢を強めている。

こんな中、「日の丸・君が代」強制に対し、石原都知事・横山前教育長らを刑事罰で告訴していた〈「日の丸・君が代」の強制者を告訴・告発する会〉の告訴・告発人は、不起訴処分を決定した東京地検に対し、さきに「付審判請求」を行ったが、2月17日、さらに検察審査会にも申し立てを行い、検察が十分な調査を行い、公正な裁判を開くよう決定してほしいと要望した。

2月23日、都立高校31校の保護者、元保護者有志は、強制を止め、生徒や教職員の自主性を尊重するよう都教委の中村正彦教育長に要請。現役の高校生も参加し記者会見した。「強制に反対する教員は処分される。いま一番自由に物を言えるのは保護者だから…」と、教育現場の物言えぬ状況を語り、思想、良心の自由を学校現場にとりもどしたいと訴えた。

「子どもたちは、君が代で起立、斉唱しなければ先生が処分されると恐怖感を持っている。子どもたちは傷ついている」と保護者。「先生を人質に指導されているようだ。自分で考える力がつく教育が押さえ込まれている」と訴える高校3年生。重苦しい都の学校の様子を語った。

卒業、入学式のシーズンが近づく中、実情を訴えた。願いは「もっと、自由に！」。

CEDAW

国連機構改革の影響も
CEDAW会期は3回に

第60回国連総会報告会・婦選会館

「第60回国連総会報告会」（主催・国連NGO国内婦人委員会）が、2月6日、婦選会館（東京・代々木）で開かれた。この報告会は、1957年、同委員会が国連代表団にNGOのメンバーを推薦、代表代理として送り出して以来、毎年、欠かさず開催されている。

今回の代表代理は、大谷美紀子（弁護士　日本法律家協会副会長）さん。

第60回総会は、国連の組織改革を含んだもので、制度改革が進められている。そのひとつが、人権理事会を改革した人権理事会の創設されることになった。社会・人道・文化問題を扱う第3委員会は、2005年10月3日から11月23日に開かれた。64本の決議が審議され60本が採択、39本は無投票で採決された。その中のひとつが、UNIFEM（国連婦人開発基金）に対する決議で、ジェンダーの主流化による活動が評価されたという。

報告する大谷さん

障害者の人権問題の中で、女性の障害者についての条項が独立した条文として設けることになったことなど、「国連改革と第60回国連総会のトピック」として外務省の鈴木誉里子（大臣官房国際社会協力部人権人道課主席事務官）さんが報告した。

女性に関する議題の中から、重要な決議を中心に報告した大谷さんは、CEDAW（女子差別撤廃委員会）の会期が、今年1月から暫定措置として3週間の会期（＋1週間の会期前作業部会）が年3回開かれることになったこと、個人通報に関する作業部会は、これまでどおり、年2回開かれることになった言う。条約の締約国が多いのに会期が少なく、各国のレポートの審議がたまっていることから、2004年、CEDAWは会期延長を直訴。しかし、昨年は対応がなく、失望を表明した経緯がある。

女性に対する暴力の研究に関する決議案は、コンセンサスで採択され、これまでの研究活動が歓迎された。今回、女性と人権を議題に、インフォーマティヴ（対話方式の）・ディベートが行われたが、「傍聴でなく、参加できれば国連へのNGOの参加に繋がると思った」と大谷さん。国連機構改革に関するものとして、人権理事会が創設されたが、条約期間統合の話も出ており、CEDAWへの影響が心配されるという。「現在、女性の地位向上部が活動を行っているが、改革が進むと、人権理事会の範囲となり、地位向上部の活動を見直そうということにならないかと心配だ」と。

今回代表代理として送られたことに対して、「参加したことを広く還元したい」といい、これまでの代表代理の人達が集まり、将来に向けて提言してもらえたらと思うとも話していた。

女子差別撤廃条約
情報・意見交換会

日本レポート

3月24日

「女子差別撤廃条約実施状況第6回報告書作成」に関する情報・意見交換会が、3月24日㈮、内閣府で開催される。現在、政府では、今年国連に提出予定の第6次レポートを策定中。この情報・意見交換会は、2005年11月から2006年1月にかけて実施した意見募集で出された、意見・提案に関連し実施した主な施策について説明する目的で開かれ、質疑応答、意見交換を行う。

日時…2006年3月24日㈮10時～12時

場所…内閣府地下講堂（地・国会議事堂前駅すぐ）

内容…女子差別撤廃条約実施状況第6回報告書の策定に関連し政府の実施した主な施策についての関係各章からの説明と、これに対する質疑応答・意見交換。

参加登録要領…ファクシミリ、ホームページ、郵便で。「意見交換会参加希望」と記載。氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話／ファクシミリ番号、メールアドレス、所属先を明記。内閣府男女共同参画局総務課国際担当（情報・意見交換会係）宛送付。※返信のファクシミリ、メール、郵便が当日の入場券になる。電話の受付は行っていない。

申込締切…2006年3月15日㈭17時　必着。

申込み先…郵便〒100-8914東京都千代田区永田町1-6-1 内閣府男女共同参画局総務課 国際担当（情報・意見交換会係）、ファクシミリ03・3581・9566、ホームページ http://www.gender.go.jp/info/06021bosyuu.html

問い合わせ…☎03・5253・2111（内線83716、83717）

たんぽぽ

2月下旬のある日曜日、神奈川県伊勢原市で、小さなコンサートが開かれた。障害者の作業所「貴有意の郷」所長の小沢章子さんが企画した会だ▼小沢さんは障害児の作業所をつくろうと、古紙回収などで10年以上かけて金をためめ、伊勢原市の郊外に農地を買い、「貴有意の郷」をつくった。障害者が太陽の下で明るく働ける場所をつくるのが「夢」だった▼苦労が多かったが、伊勢原市初の補助金事業に認定され、運営も安定したのも数年。小沢さんが倒れてしまった▼小沢さんは体は全く動かない。声も出ない。意思を伝えるのは、50音を書いたボード。だが、小沢さんは残る機能・頭脳、目、耳を使い前向きに生きる。このコンサートも小沢さん自身の企画だ。親交があったシャンソン歌手の川原栄子さん、元NHKアナの森川霞子さんに出演を頼んだ。招かれた人々は小沢さんの病室にぎっしりと座って聴いた▼貴有意の郷の仲間たちの手作り。黒米のおにぎり、大根のふろふき など「貴有意の郷」の産物がランチに出た。ワインのグラスは「貴有意の郷」の障害者の製品。仲間たちは変わらず小沢さんを支えつづけている▼川原さんの歌は心に染みるようだった。介護をしている看護師さんたちも合唱を披露した。涙をこぼしながら、声なき声で、一緒に歌を口ずさむ小沢さん。感動と勇気をもらった。

全国不登校新聞
この人が語る不登校
全国不登校新聞社／編
発行　講談社
定価1500円（税別）
■羽仁未央　■椎名誠
■大平光代　■落合恵子
■安住磨奈　■吉本隆明
■辛　淑玉　■立川志の輔
■谷川俊太郎　■森毅
■渡辺位　■大槻ケンヂ
■岡本敏子　■ひろさちや
■五味太郎　■高木仁三郎
■山口由美子　■大田堯
この人が語る「不登校」絶賛発売中！
お求めは、全国の書店もしくは当社まで
NPO法人
全国不登校新聞社
Phone 03-5360-1231（東京編集局）

今何が・・・
庶民の立場にたってルポする「ドキュメントDD」。
TBSテレビ　毎週火曜日25時50分～
この他、2時間スペシャル、BS-iなどにも制作。
現代センター
代表　吉永　春子

なぜ、こんな国になったのだろう？
―主権は国民にあることを忘れないで。―
女性ニューズ The Women's News, Japan

「世界の子どもをエイズから守れ」

予防への正しい理解を

社団法人日本広告制作協会主催「クリボラ展」

30日まで UNハウス

社団法人日本広告制作協会（OAC）主催、国連児童基金（ユニセフ）共催の、クリボラ展『世界の子どもたちを守れ。』が渋谷のUNハウスで30日まで催される。「クリボラ」とは、クリエイティブパワーを生かしたボランティア活動を表わした造語。

1日に行われたオープニングセレモニーで、OAC・服部邦繁理事長は、「OACは正会員社108社、賛助会員社82社、正会員クリエイター5000名。このコミュニケーション力とクリエイティブ力のあるOACのパワーを、営利目的ではなく社会貢献に生かせないか?」と2年前から検討していた中、ユニセフの同名のキャンペーンを知った。「HIV／エイズにより世界の子どもたちが置かれている状況を、作品を通して日本の人々に訴えていきたい」。

ユニセフは「子どもとエイズ世界キャンペーン」を全世界で展開中。ユニセフ東京事務所・高橋伸子所長代理は、これまでHIV／エイズは大人の問題とされてきたが、2003年の統計では、HIV／エイズと関連の病気で15歳未満の子どもが1分間に1人死亡し、毎日6000人（15～24歳）以上が新たに感染。エイズ孤児は1600万人と、現状は子どもの問題である事を力説し、「予防には、情報と正しい理解によって差別・偏見を無くすこと」、その役割をクリボラ展に期待したいと述べた。

お祝いに駆けつけたアグネス・チャン日本ユニセフ協会大使は「子どもを救うには、大人が関心を持つこと」、丸山和也弁護士は「協力をしようとする人々の真心を集めることで、防ぐことが出来る」、タレントの松村邦洋さんは「世界からエイズという言葉を撲滅しよう」と挨拶。

続いて入賞作品の表彰が行われ、グラフィック作品73点、インタラクティブ作品12点、計85点の中から9点が選ばれた。入選外作品も訴求力のあるものばかりで、観て、感じて、伝えて欲しいという思いが滲み出ている。東京展のあと名古屋、大阪、仙台展も予定。

クラボラ展
3月30まで14～16時
UNハウス（国連大学本部ビル）2F（JR・渋谷駅／地・表参道各10分）

入選作品を前に

んぽ

〈物語〉の廃墟から

高橋哲哉対話・時評集
1995―2004

本書は、『靖国問題』（ちくま新書）の著者による1995年以降の対談と時評集である。

対談は高橋順一「戦争の記憶をめぐって」、岩崎稔『「物語」の廃墟から』、大越愛子「ジェンダーと戦争責任」、川田順平「責任不在社会をどう変えるか――薬害エイズと戦争責任」、鵜飼哲「和解の政治学」、ノーマ・フィールド『「女性国際戦犯法廷」が裁いたもの』、水島朝穂「私たちは平和主義を捨てるのか――『有事法制』に反対する」、三宅晶子「これは『国民精神改造運動』だ――教育基本法「改正」と『心のノート』」で、タイトルが示す通り、どれも核心をついた発言が引き出されている。

また「沖縄タイムス」等に書かれた時評により天皇の「聖断」がもう少し早ければ、少なくとも沖縄戦、広島・長崎への原爆投下は防げたこと、自衛隊は国民を守るのではなく国家を守るためにあることなどが、根拠と共に明らかにされる。

国民の意識がどのようにして形成されていくのかも記されていて、いまぜひ読んでおきたい論考であると、声を大にしておすすめする。（陽）

（影書房　定価2800円＋税）

5年では収入は増えない

大阪母子連実態調査

児扶手減額はあまりに酷

率の緩和求め署名運動スタート

大阪母子寡婦福祉連合会（羽間美佐子理事長）は、2008年4月から実施の児童扶養手当の減額措置が迫ってきたため、母子家庭の暮らしの実情の調査を行った。この措置は、手当てを受給してから5年たつと、半額を超えない範囲で減額するというもの。5年たてば生活もラクになるだろうというのが国の言い分だが、調査の結果、5年で自立どころか10年たっても収入はあがっていない状況がわかった。同連合会は、努力しても母子家庭は5年では到底自立できない。減額措置は納得できない。母子家庭の命綱の児童扶養手当は無くてはならないものであると訴え、減額率緩和を求める署名を全国規模で行うことになった。

調査は昨年6月行ったもの（郵送方式。950郵送、有効回答数355）。母子家庭になった平均年数は4・9年。子どもの数1・7人。高校生以下の子どもを養育する世帯314世帯（88・5%）。

年収は150万円未満が63・7%。1カ月の生活費・平均14万4000円。

就労以外の収入は児童扶養手当87・3%。養育費を貰っている人はわずか19・7%。親などの援助16・4%となっている。

全体の83・1%の母が就労しており、非正規が49%（常用26%）。

母子家庭になってから、経過年数による就業率に差は見られない。10年たってもパートと言う人が5割を超え、10年たっても年収150万円未満の世帯が64%もある。

養育費は、取り決めをした世帯は5割近いが、受けている世帯は19・7%にしかすぎない。取り決めをした世帯の3分の1しか履行されていないのが現状だ。

5年過ぎると減額されることについて、知らない人が4割もあり、広報が行き届いているとは言えない。

児童扶養手当改悪の代わりとして「就労支援」がうたわれたが、講習会を受講した人は186人。そのうち職業があって受けた人132人、無職の人が54人。受講後、約半数が転職、就職。勤務形態も常用の人が15%から18%に増加。一定の成果は見られた。

この調査の結果、児童扶養手当の5年で減額は母子家庭の命綱を切ることになると、署名運動に取り組むことになった。

スタッフ募集中！

アジア女性資料センター

活動理念に賛同する人

アジア女性資料センター（東京・渋谷）では、現在、プロジェクトマネージャーを募集中。

同センターは、ジェンダーの視点に基づき、人権の確立、あらゆる差別と暴力の根絶を目指して、より公平で持続可能な日本社会・地球社会を創るのが、活動理念。これに賛同し、一緒に活動していくスタッフを求めている。

【業務内容】英文機関紙の発行、ツアー企画・添乗（年2～3回）、セミナー企画・実行、他団体・ネットワークの会議参加など。

【必要なスキル】NGOの活動暦3年以上。日本国内外の女性運動をし、女性問題にある程度の知識があり、他の人とコミュニケーションしながら、活動、運動ができること。ウインドウズのコンピューターが使用でき、。英語でコミュニケーションできること。

【労働条件・待遇】2年ごとの契約。勤務時間は10時～18時、週　休2日。交通費原則全額支給。雇用保険あり。1カ月の試用期間後採用。

【応募方法】履歴書、2通以上の推薦状添付し、3月17日㈮必着。

問い合わせ…〒150―0031東京都渋谷区桜丘14―10―211　アジア女性資料センター宛。☎03・3780・5245

日本女子体育大会と連携協定を締結

健康への意識向上に関する取り組みも―。

左・神田理事長、右・永島学長

2月22日㈬に、日本女子体育大学（東京都世田谷区）との連携協定の調印式を行いました。会館が他の機関との連携協定を締結するのは、女子栄養大学と本年1月11日に行ったものが初めてでしたので、今回が2件目となります。

調印式は、世田谷区北烏山の日本女子体育大学本館で行われました。まず、永島惇正（あつまさ）学長から御挨拶があり、「昨年10月に運動と健康に関するプログラムを会館で実施した際に、講師の派遣などで生まれた縁によって今回の連携協定が実現しました。単科大学として女性教育に力を入れているところであったので、会館と密接な協力できることを喜んでおります」とのお言葉をいただきました。

次に、神田理事長からは「貴学の運動と健康に関する学習支援についての取り組みを活かし、会館の施設を活用したプログラムの実施や、人々の健康への意識向上にに関する取組についても積極的に行って参りたいと考えております」との挨拶がありました。

協定書にサインを済ませ、永島学長と神田理事長が文書を交換し、握手を交わした後、この協定に基づくこれからの取組について、1時間ほど具体的な話し合いが行われました。（希少予報士）

ヌエック コミこみネット

独立行政法人
国立女性教育会館（ヌエック）
〒355―0292埼玉県比企郡
嵐山町大字菅谷728番地
☎0493・62・6711（代）
URLhttp://www.nwec.jp
E-mail webmaster@nwec.jp

出かけてみませんか

開催中

▼『地球大好き　絵メール』展
3月31日㈮まで　10時～17時　ハGAS MA USEUM　がす資料館　月曜休館　中学生以下の子どもたちが「地球・環境」に対する思いを描いた作品計141点　無料　問合せ…同館☎042・342・1715

大賞の佐々木英乃さんの作品

3月

▼「地人会第100回公演『流星に捧げる』」
10日㈮～26日㈰　紀伊國屋サザンシアター（新宿南口）　山田太一・作、木村光一・演出、風間杜夫、根岸李衣、山本學ほか　※インターネットサイトを見て、車椅子の老人が住む古い屋敷に集まってきた人々…ある事件をきっかけに夢を実現しようとする…。5500円（全席指定／税込み）、学生チケット（25歳以下）3800円　申込み・問合せ…地人会☎03・3354・1279

▼吉岡しげ美とビッグな女性たち　歌と語りにのせて　生き方桜色
18時㈯18時30分、19日㈰14時　ドーンセンター（地・天満橋駅1番出入口から東へ350㍍）　吉岡しげ美（音楽家）、諸岡由美子（チェロ）、土井たか子（アジア人権基金、特別出演…吉武輝子（評論家）　前売り2500円（当日3000円）　問合せ…同センター☎06・6910・8615企画推進グループ

▼ピカソ　5つのテーマ
18日㈯～9月17日㈰　9時～17時　ポーラ美術館（神奈川県箱根・仙石原）　初公開のピカソ、ブラック、セザンヌ作品15点を含む同館所蔵のすべてのピカソ作品を公開　大人1800円、シニア（65歳以上）1600円、大高生1300円、中小生700円　問合せ…同館☎0460・4・2111

続・お塩のはなし

自然塩の源流についてのQへの答え（つづき）

「流下式枝条架方式」の塩を目指して

運動のメンバーで会社を作りましたが、メンバーには塩つくりの経験者は一人もいませんでした。とりあえず伯方島の塩業組合の建物を借り（ここには平釜も残っていました）生産を始めました。丸本執正（現・伯方塩業社長）が工場に行くことになりました。丸本は有機農業をしていた農業者で、塩をつくるのは生まれて初めて。伯方島の塩作りの経験者に聞きながらの塩作りです。「ここで挫けたら今までの苦労が水の泡になる」と自らを奮い立たせながら塩作りを始めました。出来たばかりの会社には金がなく、社員の内、運動のメンバーは無給のボランティアでした。

塩をとかす水には、海に近いところにある井戸の水を使いました。この方法で「よい塩」をつくることができました。私たちが目指したのは、塩田の塩の最後の時期、「流下式枝条架方式」でつくられていた塩です。

海水に含まれる塩分は約3%しかありません。煮詰めて塩をつくるのは莫大な燃料がいります。煮詰めただけではニガリ分が多すぎ、まずい塩になり、ニガリ分を「枯らす」工夫もいります。燃料を少なく（安く）おいしい塩をつくるために、江戸時代頃から塩田がさかんになり、塩田づくりに気候が適した瀬戸内海が塩所になりました。流下式（枝条架併用）塩田は、この最も改良された形式で、人手も少なくすみ、ニガリ成分を1～2%含み、健康によくおいしい塩でした。

（回答・伯方塩業株式会社）

海の恵み　にがりを残した
はかた伯方の塩®
提供　伯方塩業株式会社
E-mail info@hakatanoshio.co.jp
http://www.hakatanoshio.co.jp

おしらせ

3月11日㈯

◆ウィズせっつフェスタ2006
9時　12日㈰とも　男女共同参画センター・ウィズせっつ　11日＝「手作りショップ&フリーマーケット」、「ごちゃまぜライブナチュラルGOGOえ～感じ」ほか　12日＝13時　講演「何歳からでもチャレンジ　わたしらしく輝きたいねん！」辻イト子（タレント、みかん山プロダクション代表）ほか　問合せ…同所☎072・635・1407

◆楽しく一生懸命！大人のキャリアのつくり方―パネルディスカッション
13時　女性と仕事の未来館（JR・田町駅3分）　コーディネーター・河野純子（㈱リクルート　とらばゆ編集部編集長）、パネラー・上野貴子（㈱デルフィス　マーケティングプランニング局局長）、福田積子（住友スリーエム㈱人事支援部マネージャー）、村上利栄（ゴールドマンサックス証券会社投資銀行部門マネージング・ディレクター）　1050円　50人　問合せ…同館☎03・5444・4151

◆京ガス男女賃金差別裁判　勝利和解報告集会――改めて、同一価値労働同一賃金を問う
13時30分　エルおおさか11F（地・天満橋駅西へ300㍍）　森まず美（昭和女子大教授）　主催…きりの会　連絡…☎&FAX06・6354・2227

◆辺野古・平澤・東京を結ぶ3・11行動へ！
14時　上野水上音楽堂（地・湯島駅2分）　アピール、デモパレード、コンサート　1000円（高校生以下500円）　主催…実行委　呼びかけ…命どう宝ネットワーク・日韓ネット☎&FAX03・5974・1333

◆日曜クラブ懇談会
14時　日本出版クラブ会館（飯田橋駅下車）　「女性と政治」関千枝子（女性ニュース総合企画室長）　1500円　主催・問合せ…同クラブ☎03・3203・9782

◆ドメスティック・バイオレンスと教会
15時30分　日本聖書神学校（JR・目白駅8分）　高橋克樹、一色義子　700円　問合せ…日本フェミニスト神学・宣教センター☎03・3922・3214

3月14日㈫

◆「脳死」を人の死とする『臓器移植法』改悪を考える緊急院内集会
15時　衆議院第一議員会館（地・国会議事堂前駅2分）　「交通犯罪被害者の立場から――脳死を人の死とすることの問題点」駒井由美（全国交通事故遺族の会）、「これまで行われた脳死・臓器移植の問題点」利光恵子（脳死・臓器移植に反対する関西市民の会）ほか　主催…「臓器移植法」改悪に反対する市民ネットワーク☎03・5155・4765

3月15日㈬

◆労働者向けセミナー「もっと知ろう、労働組合～その役割と課題を考えよう」
18時30分　17日㈮、24日㈮とも全3回　東京都労働相談情報センター池袋事務所（地・東池袋駅2番出口5分）　飯田勝泰（NPO東京労働安全衛生センター事務局長）、中村圭介（東大教授）、木下武男（昭和女子大）　100人　無料　申込み・主催…同所☎03・5954・6505

3月17日㈮

◆婚外子差別謝罪と賠償裁判
13時30分　東京地裁705法廷（地・霞ケ関A1出口）国、千代田区、大阪市、福岡市を提訴。口頭弁論、連絡…支援する会　http://hansabetsu.blog7.fc2.com/

◆第84回いじめの体験を語る集い
19時　多摩交流センター（京王・府中駅3分）　体験談、交流・情報交換　初参加無料　要予約　主催…大人・子どものいじめ問題を素人の目から語る会　連絡…☎090・9133・0565川井

◆結婚の意味を問う継続討論第47回
19時　豊島勤労福祉会館（池袋駅西口7分）　テーマ「誰が産んでくれってたのんだ」とは言わせない自信がおありで親になったんだよネ、あなた…　無料　連絡…討論会事務局☎03・3354・2543藤村

3月18日㈯

◆イラク戦争開戦3年抗議　終わらせようイラク占領　終わらせよう戦争の時代
13時30分　東京・日比谷野外音楽堂　主催…ワールド・ピース・ナウ

◆wamシンポジウム「韓国民主化運動を支援し、何を学んだのか」
13時30分　キリスト教会館6AB（地・早稲田駅5分）　基調講演…朴炯圭（牧師）、パネリスト…東海林勤（牧師）、富山妙子（画家）、東海林路得子（女たち戦争と平和人権基金理事長）、司会・池田恵理子（wam運営委員長）　1000円　主催…wam☎03・3202・4633

◆スーダンにおけるFGM（女性性器切除）への人びとの意識―アンケートとインタビューから読み解くFGM
13時30分　江東区教育センター第1研修室（地・東陽町駅2出口3分）　長島美紀（早大助手）　500円　問合せ…FGM廃絶を支援する女たちの会☎03・3760・6641（毎火曜日14時～16時）

◆のびやかに60年　そしてわたしたち　フェミン婦人民主クラブ創立60周年記念の集い
13時30分　女性と仕事の未来館（JR・田町駅3分）　映像で綴るふぇみんの60年　講演…「フェミ冬の時代」北原みのり、「いのちの感受性2006…わたしの60年」落合恵子　前売り1300円（当日1500円）、中高生1000円　※交流会　16時30分　3000円　要予約　主催…ふぇみん婦人民主クラブ☎03・3402・3244

◆お金のセミナー女性のための「株さがしワークショップ」
14時　東京YWCA（JR・御茶ノ水駅5分）　大島和隆（パディ・インベストメンツ㈱代表取締役）　3800円　※日経新聞、会社四季報、情報誌、電卓持参　申込み…同所☎03・3293・5421

◆リレートーク反戦集会「自衛隊をイラクから撤退させよう、イラン攻撃反対」
18時　渋谷勤労福祉会館（渋谷駅ハチ公口7分）　林克明（ジャーナリスト）、松尾晴紀（アラビア語講師）、重信メイ（ジャーナリスト）＝予定　1000円　主催…実行委　連絡…☎&FAX03・3739・1368

3月19日㈰

◆婦人民主クラブ創立60周年記念のつどい
13時30分　武蔵野公会堂（吉祥寺駅2分）　上映…婦人民主クラブ60年のあゆみ、「母の思いを受け継いで…今」佐々木愛（劇団・文化座）　主催…婦人民主クラブ（再建）☎03・3478・2317

◆犯罪者の社会復帰と犯罪防止のために市民は何ができるのか
14時　明治大学リバティタワー1093教室（JR・御茶ノ水駅5分）　ケイ・ペリー（National CURE会長）、ペニー・ライダー（AFSC・刑事政策プログラムディレクター）　1000円＝予定　主催…監獄人権センター☎&FAX03・3259・1558、アムネスティ・インターナショナル日本☎03・3518・6777

3月21日㈫㈷

◆朝鮮植民地支配・朝鮮半島分断と私たち『ジェンダーの視点からみる日韓現代史』を編集して
13時30分「総合市民交流センター5F（JR・高槻駅すぐ）　鈴木裕子（女性史研究者）　500円　保育有要予約　主催…高槻ジェンダー研究ネットワーク☎072・681・1372

◆公開講座「熟年離婚と年金
13時30分　千代田区麹町区民館　「熟年離婚と変わる年金制度について」袖井孝子（お茶の水女子大名誉教授）、「離婚前後の精神的ストレスとそのケアについて」吉川武彦（精神科医、中部学院大教授）　2000円　主催…ハンド・イン・ハンドの会☎03・3261・1835

◆これは下流社会への招待状？　かなりヤバイ！均等法改正法案
13時30分　総評会館（地・新御茶ノ水駅すぐ）　フォーラムシアター「ここが問題均等法！間接差別早わかり講座パート編」、「ディベート均等法改正案―あなたは、賛成？反対？、がんばれ！国会議員」　500円　主催…均等待遇アクション21☎&FAX03・5689・2320

3月22日㈬

◆憲法のために私たちは何をすべきか～新たな呼びかけからのごあいさつ～
18時30分　カタログハウスセミナー室（新宿駅南口5分）　香山リカ（精神科医）、斎藤貴男（フリージャーナリスト）、高橋哲哉（東大大学院教授）、高良鉄美（琉球大教授）、森永卓郎（獨協大特任教授）ほか　500円　連絡・問合せ…憲法行脚の会FAX03・5570・5504、URL http://kenpou.info

3月23日㈭

◆兼松性差別是正裁判控訴審第10回
10時50分　東京高裁824号法廷　連絡…是正の会　mori-fim@tbf.t-com.ne.jp

3月24日㈮

◆デートDV防止プログラム・ファシリテーター養成講座
9時～17時　LMJ東京研修センター（文京区本郷）　デートDVの概要・事例・統計、要因（ジェンダー、暴力、感情表現ほか）ほか　4万5000円　50人　申込み・問合せ…awareアウェア☎03・3292・5508

◆公務パート裁判・判決
10時　東京地方裁判所636号法廷（地・霞ケ関駅下車）　※報告集会＝3月30日㈭18時30分（予定）　問合せ…均等待遇アクション21☎&FAX03・5689・2320

3月25日㈯

◆けんぽう市民フォーラム「どう考える『憲法改正国民投票法案』」
14時　専修大学神田校舎303号教室　簗瀬進（参・憲法調査会会長代理）、辻元清美（衆）、菅沼一王（日弁連）　500円　問合せ…同フォーラム☎03・3221・4668高田

3月26日㈰

◆「中高年女性の健康は、この世の宝！」～転ばず・老け込まず・落ち込まず～「落ち込まず」セミナー
13時30分　こころとからだの元気プラザ（飯田橋駅東口1分）　姫野友美（医師）　1000円　申込み…同所FAX03・5210・6699　問合せ…高齢社会をよくする女性の会☎03・3356・3564（月・水・金）

3月27日㈪

◆シンポジウム「中東の女性は今」
14時　明治大学リバティホール（御茶ノ水駅5分）　中東女性8名が来日　無料　申込み・国際交流基金市民青少年交流課「中東パネルトーク」係☎03・5562・3532